

**令和4年度  
公益社団法人創玄書道会事業報告**

**公益目的事業**

**第1 書道に関する展覧会の開催等**

事業名	時期及び場所	事業実績
<p>第58回 創玄展</p>	<p>3月9日～3月20日 国立新美術館 東京都美術館</p> <p>3月12日表彰式 ザ・プリンスパークタワー東京</p>	<p>&lt;創玄展&gt; 広く全国より公募した準会員及び二科6,152点の作品の中から、本会審査会員によって鑑別・審査を受けて選抜された3,914点と正会員1,409点の合計5,323点を国立新美術館と東京都美術館に展示した。入場無料。</p> <p>特別賞の選考には外部より日本芸術院会員・高木聖雨氏、全日本書道連盟理事・船本芳雲氏を招聘した。</p> <p>入場者28,913人。ボランティア協力者延べ900人。</p> <p><b>*顕彰*</b></p> <p>文部科学大臣賞 森 桂山 金子鷗亭記念賞 赤澤寧生 21世紀賞 竹村節子、山田起雲 東京都知事賞 関根悟牛 理事長賞 秋永春霞、内山宇響、関谷昊神、山中紫琉 創玄展大賞 細田青秀 創玄展準大賞 明石郁子、秋山美象、浅井明奈、安達香悦、伊藤寒岳、金高文々、上 光琳、狩谷 申、川上梨亭、小宇佐久美、重光倩瑟、下田章平、辻村嶺水、土居池畔、中村美蕉、濱野麗菜、福田彩苑、星埜天暁、堀 祥華、吉川海斗、若槻燐翠</p> <p>創玄書道会賞 入江遼太、犀川定伸、坂本笙山、佐藤朋子 毎日新聞社賞 石田千弓、樫本美浩、門脇笙華、中原 藍、光野鶴翠</p> <p>以下 特選80名・秀逸556名・二科賞247名・準二科賞496名 &lt;作品解説会・席上揮毫会&gt;新型コロナウイルスの影響のため中止した。</p> <p>&lt;オンラインの活用&gt; 展覧会場風景を動画撮影し、本会ホームページに掲載。また、展覧会場内の数か所に QR コードを掲出し、個人の携帯電話で作品画像や作品情報等を見たり、陳列室番の検索ができるシステムを活用した。</p>
<p>併催 学生部門 全国学生書道展</p>	<p>3月9日～3月14日 東京都美術館</p> <p>3月13日表彰式 東京都美術館講堂</p>	<p>&lt;全国学生書道展&gt; 広く全国より公募した小学校入学前の幼児から高校生までの10,585人、19,697点の作品の中から、本会審査会員によって鑑別・審査を受けて選抜された4,956点の作品を展示した。入場無料。</p> <p>特別賞の選考には外部より文部科学省教科調査官・豊口和士氏を招聘した。</p> <p>入場者13,086人。ボランティア協力者延べ350人。</p> <p><b>*顕彰*</b></p> <p>優秀団体賞 豊苑書道会 ほか69団体 文部科学大臣賞 曾我みなみ 東京都知事賞 荒川華織、杉野凱士 大賞 朝日真央、有田悠馬、齋藤るな、櫻井乃梨、成田優香、西村美輝、浜松明日香、吉田陽香、脇坂希実</p>

事業名	時期及び場所	事業実績
		<p>東京都教育委員会賞 岡田芙佳、奥 麻七、下河美葵、土谷美音、安川侑良</p> <p>以下 毎日新聞社賞 65 名・金剛峯寺賞 36 名・学年優秀賞 409 名ほか 10,058 名</p> <p>&lt;作品解説会&gt;新型コロナウイルスの影響のため中止した。</p>
<p>第 48 回 創玄現代書展</p>	<p>11 月 1 日～11 月 6 日 セントラルミュージアム銀座</p> <p>11 月 5 日表彰式 東京プリンスホテル(中止)</p>	<p>最高顧問、顧問、名誉会長、会長、理事、監事、常任参与、評議員、一科審査会員、二科審査会員中より推薦された作品 62 点と、審査会員及び創玄展一科または毎日展入賞経験のある出品資格者により応募された作品 1,398 点から、選抜された入選作品 100 点を展示した。</p> <p>本年度選考委員 井之上南岳、加藤有鄰、鈴木不倒</p> <p>入場者 1,812 人。入場無料。</p> <p>* 顕彰 *</p> <p>白鷗賞 大神悠麗、大田さやか、長谷川翔波、原田皇麗、宮崎万由有、村上薫仍、室井大輔、森寺祐子、山屋奏佳</p> <p>表彰式は新型コロナウイルスの影響のため中止した。</p> <p>&lt;作品解説会&gt;新型コロナウイルスの影響のため中止した。</p>
<p>第 59 回 全国競書大会</p>	<p>11 月 17 日 審査会 創玄会館</p>	<p>&lt;一般部&gt; 広く全国より公募した 7,279 点の作品の中から、本会審査会員によって優秀な作品を選抜した。成績を本会ホームページにて発表し、特に優秀な 46 点の作品を本会ホームページおよび「創玄会報 131 号」に掲載。</p> <p>&lt;学生部&gt; 広く全国より公募した小学校入学前の幼児から高校生までの作品 22,798 点の作品の中から、本会審査会員によって優秀な作品を選抜した。成績を本会ホームページにて発表し、特に優秀な 112 点の作品を本会ホームページおよび「創玄会報 131 号」に掲載。</p> <p>* 顕彰 *</p> <p>最優秀団体賞 大琳書道会 団体特別賞 隆玄書道会ほか 26 団体 優秀団体賞 蒼玄書道会ほか 33 団体</p> <p>&lt;一般部&gt; 東京都知事賞 三輪瑞雪 創玄書道会賞 阿彦應玖、阿山珠華、石上結愛、片山天舞、谷本凜佳、平川明美、渡部東彩</p> <p>以下 大会会長賞 10 名・毎日新聞社賞 18 名・金剛峯寺賞 10 名ほか 2,588 名</p> <p>&lt;学生部&gt; 東京都知事賞 戸次李歌 創玄書道会賞 鹿島柚花、川崎心愛、北山穂風、鈴木真里江、竹谷嘉乃、津田千夏、中村櫻子、根本優菜、築川瑠花</p> <p>東京都教育委員会賞 岡部陽菜、小柳祐璃愛、竹原 綾、森 晏菜</p> <p>以下 大会会長賞 14 名・毎日新聞社賞 58 名・金剛峯寺賞 26 名ほか 10,732 名</p>
<p>第 73 回 毎日書道展協力</p>	<p>7 月 13 日～8 月 7 日 国立新美術館 東京都美術館</p>	<p>総出品点数 27,791 点のうち 6,534 点出品。本会会員から運営委員、審査員、作品解説など係員として多数運営に協力。</p> <p>ボランティア協力者約 150 名</p> <p>主催:毎日新聞社・(一財)毎日書道会</p>

事業名	時期及び場所	事業実績
第40回 日本詩文書作家協会 書展協力	6月7日～6月12日 セントラルミュージアム銀座	総出品点数279点のうち143点出品。本会会員から役員、事務局員など係員として多数運営に協力。 主催：日本詩文書作家協会
第9回 日展協力	11月4日～11月27日 国立新美術館	第5科公募出品点数8,576点のうち696点出品。本会会員から、審査、会場当番など係員として運営に協力。 主催：公益社団法人日展
第41回 北海道創玄展後援	6月1日～6月5日 札幌市民ギャラリー	会場の都合で陳列されない創玄展二科出品者の入選入賞作品を展示するため139点に助成した。 主催：北海道創玄
詩文書の魅力 「金子鷗亭と中野北 溟」展協賛	10月8日～12月4日 北海道立函館美術館	我が国を代表する北海道出身の書家、金子鷗亭と中野北溟氏の作品59点を展示。開催への準備協力、開会式への参加を行った。 展覧会期間中、不特定多数の書道愛好家を対象とした講演会及び書道パフォーマンスが開催され、本会役員がこれに協力。 現代書道の普及振興を行った。入場者2,948人。 主催：北海道立函館美術館
北海道松前町への 助成	12月	「書のまちづくり」に取り組む松前町の書道文化の振興と発展に寄与するため60万円を寄付した。 松前郡松前町
第17回「金子鷗亭記 念松前町児童生徒書 初め席書大会」への後 援	1月 松前町民体育館(中止)	新型コロナウイルスの影響のため中止となった。 主催：文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会
正会員が主催する事 業への後援	通年	全国の正会員が行う展覧会、講習会等に対し、39件の後援を行った。祝電および案内用の宛名ラベルを原価提供により27件協力した。
優良図書の購入	2022年6月	文化功労者・日本芸術院会員、井茂圭洞先生の現時点での集大成ともいふべき『白梅帖』(美術新聞社刊)を325冊購入し、一科審査会員以上に優良図書として贈呈した。

## 第2 書道に関する講習会等の開催

事業名	時期及び場所	事業実績
第60回 創玄書道会 全国夏期書道研究会	7月30日～8月2日 熱海市 金城館(中止)	新型コロナウイルスの影響のため中止した。
第41回 古典研究会	11月5日～11月6日 大田区産業プラザ PiO	本会役員の講義と実技指導により、古典への理解を深めるための研究会を開催。本会講師による講演を行った。175名参加。 課題 「十七帖」講師・関口春芳 「九成宮醴泉銘」講師・鈴木大有 「木簡隸書」講師・永守蒼穹 講演 「書の可能性～特別支援教育の視点から～」 講師・西里俊文
令和4年度松前町 第10回「金子鷗亭記 念書道パフォーマンス」	5月14日 松前町民総合センター	鷗亭先生の故郷である松前町で開催。道南の高校9校及び松前中学校、松城小学校が参加。書道文化の普及と「書の町松前」の周知を図ることに賛同し、後援と講師派遣を行った。 主催：文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会

### 第3 書道文化の普及振興及び広報

事業名	時期	事業実績
会報「創玄」129号	6月23日発行	5,480冊発行。正会員、準会員へ配布を行い、関係団体へ贈呈。一般へ6冊販売。
会報「創玄」130号	8月30日発行	5,600冊発行、正会員、準会員へ配布を行い、関係団体へ贈呈。一般へ2冊販売。
第58回 創玄展名鑑	3月9日発行	1,600冊発行、正会員、準会員の希望者へ995冊の配布を行い、一般入場者へ0冊販売。
第58回 創玄展作品集	5月30日発行	2,060冊発行、正会員へ配布を行い、準会員及び不特定多数の書道愛好者へ560冊販売。国立新美術館、函館美術館等へ寄贈。
第48回 創玄現代書展作品集	11月1日発行	1,500冊発行、出品者へ配布を行い、会員及び一般入場者へ412冊販売。他団体の関係者へ贈呈。
創玄会館内「金子鷗亭 記念ギャラリー」展示と 管理	通年 創玄会館3階	平日の10:00～16:00、事前予約制で「金子鷗亭記念ギャラリー」を一般に開放している。令和2年3月中旬より、新型コロナウイルスの影響のため開放を中止。入場者0名。閲覧室に本年度受け入れた書籍34冊。
創玄会館内「多目的ホ ール」の貸与と管理	通年 創玄会館2階	書道研究会、講習会、会議に0団体利用。令和2年3月中旬より、新型コロナウイルスの影響のため貸与を中止。
インターネット事業	通年	本会の予算、会計報告ならびに事業の計画と報告をホームページに公示した。本会および正会員の紹介を行った。

### 第4 その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 東京国立博物館賛助会員の趣旨に賛同し、団体会員として支援を継続した。
- (2) 公益社団法人日展の事業を支援するため、日展パートナーズ賛助制度（寄附制度）を継続した。
- (3) 公益社団法人全日本書道連盟の事業を支援するため、維持団体として加入を継続した。